

平成 2 3 年定期総会議案書

日 時：平成 2 3 年 7 月 9 日（土）

午後 1 時～午後 2 時

場 所：神戸国際協力交流センター

特定非営利活動法人 都市災害に備える技術者の会

定期総会式次第

開会のことば

資格審査報告および総会成立宣言

議長選出

議事

第1号議案「平成22年度(第7期)事業経過報告および会計決算報告」

第2号議案「平成22年度(第7期)会計監査報告」

第3号議案「平成23年度(第8期)事業計画案および会計予算案」

第4号議案「その他」

議長解任

閉会のことば

第5章 総会 (種別) 第21条 この法人の総会は、通常総会及び臨時総会の2種とする。 (構成) 第22条 総会は、正会員をもって構成する。 (権能) 第23条 総会は、以下の事項について議決する。 (1)定款の変更 (2)解散 (3)合併 (4)事業計画及び収支予算並びにその変更 (5)事業報告及び収支決算 (6)役員を選任又は解任、職務及び報酬 (7)入会金及び会費の額 (8)借入金(その事業年度内の収入をもって償還する短期借入金を除く。第50条において同じ。) その他新たな義務の負担及び権利の放棄 (9)事務局の組織及び運営 (10)その他運営に関する重要事項 (開催) 第24条 通常総会は、毎年1回開催する。 2 臨時総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。 (1)理事会が必要と認め招集の請求をしたとき。 (2)正会員総数の5分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。 (3)第15条第4項第4号の規定により、監事から招集があったとき。 (招集) 第25条 総会は、前条第2項第3号の場合を除き、理事長が招集する。 2 理事長は、前条第2項第1号及び第2号の規定による請求があったときは、その日から60日以内に臨時総会を招集しなければならない。 3 総会を招集するときは、会議の目時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。 (議長) 第26条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。 (定足数) 第27条 総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。 (議決) 第28条 総会における議決事項は、第25条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。 2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。 (表決権等) 第29条 各正会員の表決権は、平等なるものとする。 2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。 3 前項の規定により表決した正会員は、前2条、次条第1項及び第51条の適用については、総会に出席したものとみなす。 4 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その議事の議決に加わることができない。 (議事録) 第30条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。 (1)日時及び場所 (2)正会員総数及び出席者数(書面表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。) (3)審議事項 (4)議事の経過の概要及び議決の結果 (5)議事録署名人の選任に関する事項 2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印しなければならない。

会費(平成23年4月1日現在)

正会員 (1)入会金 5,000円

(2)年会費 5,000円

URL <http://toshisaigai.net/>

賛助会員(1)入会金 25,000円

(2)年会費 25,000円

1.事業内容

平成22年度（2010年度）のNPO法人都市災害に備える技術者の会の活動は、WG活動の実施、幹事会の活動、市民に開かれた活動を中心に行った。

WG活動の実施

(1) WG-Aの活動

【防災教育WG（WG-A）】は、昨年度2件の市民向けセミナーを開催しました。

(1) 小学生親子向けセミナー「家をつくろう」

2010年7月31日、8月7日、8日に、大阪市住まい情報センターにおいて、小学生の親子向けセミナー「家をつくろう」を開催しました。今年で第10回目となる「家をつくろう」には39組の親子が参加して、ダンボールの街をつくりました。今回は、無人島に漂着した子供たちが「海」、「山」、「川」、「野」の4チームに分かれ、夢の街をつくる、という設定で進行了ました。

大阪府建築士会青年部会の多大なご協力のもとに盛大で楽しい催しとなりました。また、昨年まで6年連続で「家をつくろう」に参加した子が、今年中学1年になり、ボランティアスタッフとして参加してくれました。将来の夢は建築士だそうです。



小学生の親子向けセミナー「家をつくろう」

(2) 防災カフェ

2010年10月2日、京都大学近くのカフェ進々堂において「第4回防災カフェ：模型を使って確かめよう！地震で揺れる建物」を開催しました。防災カフェは2007年から続いているセミナーで、毎回京都の老舗喫茶店「進々堂」のテーブルをお借りして開催しています。

今回のカフェでは、参加者が紙を使って簡単な建物模型を作りました。そして形・大きさの違う模型を小型振動試験機で揺らし、揺れ方の違いを観察しました。

カフェ終了後、おまけ企画として、隣接する京大工学部実験棟でコンクリート強度試験の見学会を開きました。油圧装置でサイズ20cmのコンクリート試験片に力を加え、普通コンクリート、炭素繊維補強コンクリート、高強度コンクリートの強度や壊れ方の違いを観察しました。

本グループでは、子どもから大人まで楽しんで防災を学べる教材や手法を、今後とも工夫したいと考えています。（佐藤裕一）

(2) WG-B及びWG-Cの活動

【地震災害の減災WG (WG - B)】および【地盤防災WG (WG - C)】では、一般市民の方々へ、地震災害・地盤災害の知識と防災への動機をもっといただくことが重要な段階となっている。このため、草の根防災WGと一緒にその情報を伝える方法(リスクコミュニケーション)等について学ぶなどの活動を行った。

(3) WG-Dの活動

【草の根防災WG (WG - D)】では、現在18名のメンバーで2ヶ月に1度定例会議を開くとともに幼稚園から大学まで防災に関する出前授業を行っている。また、各種団体向け防災講演の実施や会員の資質向上のための研修・講演会も行っている。

昨年報告以後の主な活動は次の通りである。

1) 出前授業

- ・ H22,07,09 奈良市役所技術系職員 47名
「巨大地震災害時に市職員はどのように動いたか
～阪神・淡路大震災時で体験したこと～」
- ・ H22,07,31 奈良県王寺町消防団本部役員 15名
「災害対応カードゲーム：クロスロード」
- ・ H22,09,12 奈良県王寺町消防団 84名
「災害対応カードゲーム：クロスロード」
- ・ H22,12,20 徳島大学 約80名 「地滑り対策工」
- ・ H23,01,12 奈良県王寺町立王寺幼稚園 約140名
防災紙芝居 「ぶーたんととんとんの
『じしんがきたらどうするの?』」
- ・ H23,01,13 奈良県生駒市立生駒東小学校
6年生約120名 「阪神・淡路大震災の様子を
聞き、地震への備えを学ぶ会」



奈良市役所での講演風景



王寺町消防団のクロスロードゲーム



紙ぶるるに筋交いをいれ効果を実感(生駒東小学校)



王寺幼稚園での紙芝居

2) 研修会

- ・ H22,06,05 川西 勝 読売新聞記者
『阪神・淡路大震災などの取材・報道を通じて自然災害に対する取り組み方について
感じたこと～土木・建築など専門技術者に求められること～』

- ・ H22,08,29 宮本博司元国土交通省技官
『豪雨災害から命を守る 治水方策の転換 』
- ・ H23,02,05 矢守克也京都大学教授
『災害リスクコミュニケーションのジレンマ』



分りやすく講演する宮本博司氏

3) 他の団体との交流 (参考)

- ・ H23,04,02 大津市にある自主防災組織「山中比叡平学区自主防災会」に出向き、意見交換を行った。併せて、当該地域住民が抱える「地すべり」、「土石流」、「急傾斜地」、「液状化」による住民の不安に対し地盤に関する専門技術者として安全性診断を行った。



調整池上流部法面状況視察

- ・ H23,04,20 泉南市防災技術者の会を訪問し、今後連携を深め活動の一層の活性化を図ることとなった。

幹事会の活動

平成21年11月に第1回幹事会を開催して以降、これまで10回の幹事会を開催し、幹事会規約制定や当NPOの今後の活動内容について議論してきた。特に、当NPOの設立趣旨、経過を尊重し、技術士会近畿支部建設部会と連携を図りながら自治体、市民団体、他のNPOなど多様な機関、団体との連携、ネットワークの構築を主たるテーマに据え、技術者として何をすべきか、何が出来るかを議論し、実践しているところである。

合わせて、今回の東日本大震災への対応を当NPO自らの課題ととらえながら、東南海、南海地震をはじめ、来るべき都市災害に備えた啓蒙・啓発、防災教育の実施などを地道かつ草の根的に進めていく予定である。

今後も「志」を高く持ち、少しでも社会貢献出来るNPOを目指して、活動を続けていきたい。

市民に開かれた活動

市民向けセミナーを、夏と冬にそれぞれ1回ずつ開催した。

(1) 第四回震災対策技術展 / 自然災害技術展 『都市災害に備えるネットワークづくり 巨大災害に私達が立ち向かう時』 H22,06,10 於インテックス大阪

(2) 第四回災害対策セミナー in 神戸 『防災・減災のネットワークづくり 一般市民や民間グループ等のケース』 H23,01,20 於神戸国際会議場

(3) 総会後の研修会

『防災とまちづくりトピックス』本井敏雄 兵庫県まちづくり担当部長

H22,07,24 於(財)神戸国際協力交流C

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
災害予防・災害発生後の対策提案	WG-D(防災啓蒙活動)会議	平成22年4月3日から2ヶ月に1回開催	NPO 大阪事務所(新大阪)	約8人	WG-D 会員約8人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	第26回研修会 「阪神・淡路大震災などの取材・報道を通じて自然災害に対する取り組み方について感じたこと」	平成22年6月5日	読売新聞大阪本社	5人	会員および一般23人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	第27回研修会 第4回「震災対策技術展」大阪；「都市災害に備えるネットワークづくり～巨大災害に私達が立ち向かう時～」	平成22年6月10日	インテックス大阪	10人	会員および一般約80人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	WG-D(防災啓蒙活動)から講師派遣：片瀬会員他が奈良市の技術系職員を対象に「防災研修」を実施	平成22年7月9日	奈良市役所	4人	市職員47人	-
災害予防・災害発生後の対策提案	第28回研修会 「防災とまちづくりトピックス」	平成22年7月24日	(財)神戸国際協力交流センター	12人	会員13人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	WG-D(防災啓蒙活動)から講師派遣：片瀬会員他が王寺町消防団役員を対象に「災害対応クロスロードゲーム」を実施	平成22年7月31日	奈良県王寺町やわらぎ会館	5人	消防団役員14人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	WG-A(防災啓蒙活動)から小学生親子向けセミナー「家をつくろう」	平成22年8月7～8日	大阪市住まい情報センター	5人	親子39組	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	第29回研修会 「豪雨災害から命を守るー治水方策の転換ー」	平成22年8月29日	読売新聞大阪本社	5人	会員および一般約29人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	WG-D(防災啓蒙活動)から講師派遣：片瀬会員他が王寺町消防団を対象に「災害対応クロスロードゲーム」を実施	平成22年9月12日	奈良県王寺町やわらぎ会館	7人	消防団員約84人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	WG-A(防災啓蒙活動)から「第4回防災カフェ：模型を使って確かめよう！地震で揺れる建物」	平成22年10月2日	京都大学前カフェ進々堂	3人	会員および一般約6人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	WG-D(防災啓蒙活動)から講師派遣：河田のどか氏他が王寺幼稚園で「防災紙芝居」を実演	平成23年1月12日	奈良県王寺町立王寺幼稚園	5人	幼稚園児140名と先生12名	-

防災・減災対策の研究および啓蒙活動	WG-D（防災啓蒙活動）から講師派遣：片瀬会員他が生駒東小学校6年生を対象に出前授業で「阪神・淡路大震災の様子を聞き、地震への備えを学ぶ会」を講演	平成23年 1月13日	奈良県生駒市立生駒東小学校	3人	小学校6年生約120人と先生4人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	第30回研修会 第4回災害対策セミナーin神戸「防災・減災のネットワークづくり～一般市民や民間グループ等のケース～」	平成23年 1月20日	神戸国際会議場	15人	会員及び一般約70人	-
防災・減災対策の研究および啓蒙活動	第31回研修会 「災害リスクコミュニケーションのジレンマ」	平成23年 2月5日	大阪市立総合生涯学習センター	4人	会員及び一般約25人	

(2) その他の事業

本年度は収益事業は行いませんでした。

平成 22 年度（第 7 期）NPO 法人都市災害に備える技術者の会
 会計決算報告書（設立日平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

（ 1 ） 特定非営利活動にかかる決算報告書

（単位 円）

区分	項目	予算	決算	差額	備考
収 入	会費・入会金収入	350,000	390,000	40,000	正会員42、賛助6 入会1
	各種イベントの参加費収入	20,000	0	-20,000	
	当日参加費	10,000	0	-10,000	
	DVD参加費	10,000	0	-10,000	
	協賛金（研修会）	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	受託業務	0	0	0	
	WEB協賛金	0	0	0	
	前年度からの繰越金	2,412,552	2,412,552	0	
	雑収入	235	119	-116	利息
	収入合計	2,782,787	2,802,671	19,884	

	項目	予算	決算	差額	備考
支 出	事業費	275,000	157,692	-117,308	
	地域安全活動	30,000	25,000	-5,000	防災教育費
	災害救援活動	30,000	0	-30,000	
	災害に備えたまちづくりの活動	30,000	5,912	-24,088	WG活動費
	都市防災教育の推進を図る活動	170,000	107,040	-62,960	研修会等
	会場借用料	50,000	11,520	-38,480	会場費
	印刷費等	40,000	51,960	11,960	ニューズレター印刷
	講師謝礼旅費	60,000	20,000	-40,000	会員外の講師への謝礼
	通信費	20,000	23,560	3,560	会員へのメール便送料
	その他	0	0	0	手土産
	受託業務活動	0	0	0	
	前号の活動にかかる費用	15,000	19,740	4,740	プロパティ料金等
	ウェブサイト費用	15,000	19,740	4,740	
	管理費	210,000	378,671	168,671	
	会議費	10,000	0	-10,000	
	旅費交通費	100,000	182,365	82,365	山田俊満氏東京旅費
	備品等整備費	30,000	112,265	82,265	PC プロジェクター購入
	消耗品費	10,000	0	-10,000	
	登記手数料	0	66,265	66,265	決算登記費用
	交際費	0	0	0	
	支払い手数料(事務局費)	60,000	17,776	-42,224	事務諸費用
予備費	0	0	0		
支出合計	485,000	536,363	51,363		
	収益事業からの繰り入れ	0	0	0	
	当期収支差額（次年度繰越金）	2,297,787	2,266,308	-31,479	

(2) 収益事業にかかる決算報告書

(単位 円)

区分	項目	予算	決算	差額	備考
収 入	書籍・ビデオ・CDの配布収入	0	0	0	
	教材作成業務受託	0	0	0	
	コンサルティング業務の受託	0	0	0	
	教育活動の企画・運営・人材派遣	0	0	0	
	収入合計	0	0	0	

区分	項目	予算	決算	差額	備考
支 出	事業費	0	0	0	
	ビデオ・CDの配布	0	0	0	
	教材作成業務受託	0	0	0	
	コンサルティング業務の受託	0	0	0	
	教育活動の企画・運営・人材派遣	0	0	0	
	管理費	0	0	0	
	プロジェクト管理費	0	0	0	
	備品等整備費	0	0	0	
	消耗品費	0	0	0	
	租税公課	0	0	0	
	支出合計	0	0	0	
当期収支差額		0	0	0	
特定非営利活動へ繰入額		0	0	0	

【第2号議案】「平成22年度(第7期)会計監査報告」


平成22年度(第7期) NPO法人都市災害に備える技術者の会
会計監査報告書

私たち会計監査は、平成22年度(第7期)NPO法人都市災害に備える技術者の会
会計の処理が、適正に実施されているか否かを監査いたしました。その結果、会計
処理は適正かつ正確に行われていたことを下記の通りご報告いたします。

記


- | | |
|-----------|--------------------------------|
| 1. 監査実施日時 | 平成23年 6 月 9 日 |
| 2. 監査帳簿類 | 金銭出納帳
領収書類
預金通帳
決算報告書 |

平成23年 6 月 10 日

監事 清水 煌三 

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| 1. 監査実施日時 | 平成23年 6 月 13 日 |
| 2. 監査帳簿類 | 金銭出納帳
領収書類
預金通帳
決算報告書 |

平成23年 6 月 13 日

監事 鹿田 晴彦 

【第3号議案】「平成23年度（第8期）事業計画案および会計予算案」

1.事業計画

本年度は、昨年度に引き続き、会員を対象とした事業および社会に向けての活動を行ってまいります。ご依頼があれば受託業務も実施して参ります。さらに、内閣府・国交省・近畿圏各府県・市や町・市民団体・学生ボランティアなどとのネットワークづくりを行います。平成19年度発足させた「防災・減災ネットワーク推進会議」の活動を進めてまいります。また、WG活動などを通じて地域に根ざした活動を引き続き行うなど、小さな活動から徐々に実績をつけるようにしていきます。

(1)特定非営利活動に係る事業

【会員向け活動】

1.研修会

平成22年度に引き続き、概ね3ヶ月に1回割合で研修会を開催します。参加は会員のみならず、一般市民へも呼びかけます。

2.ニュースレターの発行

ニュースレターも年間数回の割合で発行していますが、広く投稿を呼びかけ内容、発行頻度ともに改善していきます。

3.ワーキンググループの活動

個別WG活動を活発化させ、形のある成果を出せるように予算も確保します。

4 幹事会の活動

幹事会の機能を最大限発揮し、当NPO法人の効率化、活性化を図ります。

【社会に向けた活動】

1.ネットワークづくり

前年度に引き続き、行政担当者のみならず、地域の防災リーダーや防災・減災NPO法人などとネットワークを構築していきます。また、必要に応じて他のグループ（法人や任意団体など）同志のネットワーク作りの仲介などにも取り組みます。

2.他団体のイベントへの参加、講師派遣

3.WEBでの広報

前年度同様にイベント案内や報告をホームページやメーリングリストで情報発信するほか、各WGの活動内容も公表します。

(2)収益事業

防災に携わる技術者が、都市の防災・減災にお手伝いできる業務が発注された際には、誠意を持って取り組み、与えられた条件のもとで最大限の成果を挙げられるよう努力いたします。なお、法人市民税に関しては、本年度も昨年度に引き続き、収益事業が開始されていないとの理由で減免申請をしております。

平成 23 年度（第 8 期）NPO 法人都市災害に備える技術者の会
 会計予算案（設立日平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

（ 1 ） 特定非営利活動に係る会計予算（案）

（単位 円）

区分	項目	前年度実績	予算	備考
収 入	会費・入会金収入	390,000	350,000	
	各種イベントの参加費収入	0	20,000	
	当日参加費		10,000	
	DVD参加費		10,000	
	受託業務	0	0	
	(単年度収入)	(390,000)	(370,000)	単年度収入小計
	前年度からの繰越金	2,412,552	2,412,552	
	雑収入	119	235	利息
	収入合計	2,802,671	2,782,787	

区分	項目	前年度実績	予算	備考
	事業費	157,692	325,000	
	地域安全活動	25,000	30,000	
	災害救援活動	0	30,000	
	災害に備えたまちづくりの活動	5,912	30,000	WG活動費
	都市防災教育の推進を図る活動	107,040	220,000	研修会等
	会場借用料	11,520	50,000	
	印刷費等	51,960	60,000	ニューズレター印刷費
	講師謝礼旅費	20,000	80,000	会員外の講師への謝礼
	通信費	23,560	30,000	会員へのメール便送料
	その他	0	0	
	受託業務活動	0	0	
	前号の活動にかかる費用	19,740	15,000	
	ウェブサイト費用	19,740	15,000	プロバイダ料金等
	管理費	378,671	210,000	
	会議費	0	10,000	
	旅費交通費	182,365	100,000	事務局長東京旅費
	備品等整備費	112,265	30,000	封筒代・名刺代等
	消耗品費	0	10,000	
	登記料	66,265	0	
	交際費	0	0	
	支払い手数料(事務局費)	17,776	60,000	事務所費用
	予備費	0	0	
	支出合計	536,363	535,000	
単年度収支	-146,363	-165,000	単年度収入-支出合計	
収益事業からの繰り入れ	0	0		
当期収支差額（次年度繰越金）	2,266,308	2,247,787		

(2)収益事業にかかる会計予算 (案)

(単位 円)

区分	項目	前年度実績	予算	備考
収 入	書籍・ビデオ・CDの配布収入	0	0	
	教材作成業務受託	0	0	
	コンサルティング業務の受託	0	0	
	教育活動の企画・運営・人材派遣	0	0	
	収入合計	0	0	

区分	項目	前年度実績	予算	備考
支 出	事業費	0	0	
	ビデオ・CDの配布	0	0	
	教材作成業務受託	0	0	
	コンサルティング業務の受託	0	0	
	教育活動の企画・運営・人材派遣	0	0	
	管理費	0	0	
	プロジェクト管理費	0	0	
	備品等整備費	0	0	
	消耗品費	0	0	
	租税公課	0	0	
	支出合計	0	0	
当期収支差額		0	0	
特定非営利活動へ繰入額		0	0	

【第4号議案】「その他」

(1) 予算の執行に関する件

出前授業や講演会の実施等の出費については、その企画を幹事会に諮り、内容・予算について承認後実施する。予算は、総会で承認された予算枠内で行うことを原則とする。また、その結果については、事務局長に報告するとともに総会で報告する。

(2) 「NPO」紹介用パンフレットの作成等、当NPOの名前を冠した書類発行の件

これらの書類発行については、幹事会に諮り、承認後実施する。当NPOの「ロゴマーク」および「名刺」についてはひな形を幹事会で承認後、使用する。また、その結果については、事務局長に報告するとともに総会で報告する。

役員・企画委員会・事務局名簿(役職) ('11.7) (敬称略・順不同)

氏名	所属	理事	監事	企画委員会	事務局
室崎益輝	関西学院大学総合政策学部教授	●		◎	
笹山幸俊	(財)神戸国際協力交流センター・顧問	◎ 名誉理事長			
梅田昌郎	(株)建設技術研究所・名誉顧問、元(社)日本技術士会・会長	◎		○	
尾見博武	日本総合住生活株式会社・特別顧問		□ 顧問		
太田英将	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・幹事	○		◎	◎
柏原士郎	武庫川女子大学生生活環境学部生活環境学科・教授 大阪大学名誉教授	◎		○	
河田恵昭	関西大学理事・社会安全学部長・教授	◎		●	
鹿田晴彦	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・幹事		○		
渋谷和久	国土交通省総合政策局政策課長			○	
清水煌三	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・幹事		○		
高田光雄	京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻・教授	○		○	
溜水義久	(株)八州・代表取締役	◎		◎	
新田保次	大阪大学大学院工学研究科地球総合工学専攻・教授	○		◎	
三輪泰司	(株)地域計画建築研究所・相談役	○		○	
向井通彦	泉南市・市長			○	
森田孝雄	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・副部会長	○		○	
山田俊満	(社)日本技術士会近畿支部顧問、建設部会・部会長	◎		◎	●
石川浩次	(社)日本技術士会近畿支部建設部会幹事・防災研究会会長			○	
片瀬範雄	神戸市都市整備公社・理事			○	◎
伊藤東洋雄	(社)日本技術士会近畿支部建設部会・幹事			○	◎
北村友博	(社)日本技術士会・近畿支部副支部長				◎
末利鏡意	(社)日本技術士会・理事、副会長				◎

(役員会:◎名誉理事長、●理事長、◎副理事長、○理事、□顧問)

(企画委員会:●委員長、◎副委員長、○委員)

(事務局:●局長、◎次長、○局員)

※定款第16条により、次期(第9期)は役員(理事・幹事;任期2年)改選です。

平成 23 年度の体制

役員等	理事長	室崎益輝
	名誉理事長	笹山幸俊
	顧問	尾見博武
事務局	事務局長	山田俊満
	事務局次長	伊藤東洋雄（統括） 片瀬範雄 北村友博 末利鏡意 太田英将（会計）
事務所	主たる事務所	兵庫県西宮市すみれ台 3 丁目 1 番地 （有限会社太田ジオリサーチ内） Tel 078-907-3120 Fax 078-907-3123
	従たる事務所	大阪市淀川区西中島 6 丁目 3 - 3 2 第 2 新大阪ビル 3 1 0 号 （太田ジオリサーチ大阪支店内） Tel 06-6886-8715 Fax 06-6886-8751

WG活動

WG略称	テーマ	代表者	活動情報
防災教育 WG (WG-A)	まちづくり・教育を 考える	西山峰広	防災カフェなどで子どもたちや一般市民への防災教育を行っています。
地震災害の 軽減WG (WG-B)	津波・地震災害軽減 を考える	石川浩次	地震情報の収集や、他のイベントへの参加を行っています。
地盤防災 WG (WG-C)	谷埋め防災を考え る	太田英将	活動を通じて関連ができた自治会などの造成地について危険谷埋め盛土の抽出を行います。今後WG-Dと合同で活動を行います。
草の根防災 WG (WG-D)	地域活動を考える	伊藤東洋雄	偶数月の第 1 土曜日に大阪事務所において定期的な会合をもち、教育教材の作成などを行っています。幼稚園から大学までの防災・減災出前授業を行っています。他の団体（自主防災組織や防災団体など）と連携して活動しています。他のWGとも連携をとって活動していきます。

WG活動が会員活動の中心になりますので、同じ思いをもつもの同士が新しいWGをつくって活動していただきたいと思います。事務局までご連絡下さい。